

講義名称	卒業研究Ⅱ	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	REQ212

授業のキーワード	日本史、社会と教育、日本文化
授業の概要	日本における教育の歴史を概観し、社会が教育にどのような影響を与えてきたのかを学びます。文化についても取り上げ、子どもを取り巻くさまざまな環境の変化について学びます。
期待される学習成果 (目標)	1、教育の歴史を知ることで、これまでの日本の社会について理解を深めることができます。 2、子どもの遊びなどの身近な文化に関心を持ち、視野を広げることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	報告	夏休み中の作業をふまえ、ゼミ論文の進捗状況を報告します。
3	報告	夏休み中の作業をふまえ、ゼミ論文の進捗状況を報告します。
4	報告	夏休み中の作業をふまえ、ゼミ論文の進捗状況を報告します。
5	ゼミ論文の書き方について	ゼミ論文の執筆にむけて、担当者が模擬報告を行います。
6	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
7	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
8	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
9	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
10	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
11	報告	ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。
12	個別指導	ゼミ論文の完成に向けて個別指導を行います。
13	個別指導	ゼミ論文の完成に向けて個別指導を行います。
14	個別指導	ゼミ論文の完成に向けて個別指導を行います。
15	まとめ	ゼミ論文を仕上げ、報告をします。

定期試験	ゼミ論文の提出をもって試験とします。
授業時間外学習	次の授業や各自の次回の報告に向けて、課題を課します。
評価方法	授業への取り組み (30パーセント)、課題に対する評価 (70パーセント) により総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	
参考文献	佐藤環『日本の教育史』(現場と結ぶ教職シリーズ2) あいり出版 小山静子『子どもたちの近代—学校教育と家庭教育—』吉川弘文館 辻本雅史・沖田行司編『社会教育史』(新体系日本史16) 山川出版社